

年頭ごあいさつ

2013



静岡商工会議所 会頭

後藤 康雄

はごろもフーズ(株) 代表取締役会長

「家康公」を核とした 当地域の魅力向上と活性化に向けて

年頭にあたり、謹んで新春の御慶びを申し上げます。

平素より当商工会議所の事業運営にご協力いただいております関係各位および会員事業所の皆様方には、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の経済対策などにより徐々に明るい兆しが見えたものの、海外経済の減速や日中関係の悪化に伴う影響に加え、デフレ・円高の定着など、依然として厳しい状況が続いております。

こうした厳しい経済環境のなか、私ども

も静岡商工会議所は、会員第一、明るくさわやかな「有言実行」の3つの合言葉のもと、昨年度から3ヶ年の第1次中期

行動計画「テイク・オフ13」に基づき、事業運営を進めております。この計画は、「企業づくり(創造型、挑戦型地域企業の育成・支援)」、「地域づくり(政策提言の強化と魅力あるまちづくりへの支援)」、「基盤づくり(組織・財政基盤の強化と職員能力の向上)」の3本を柱とし、会員それぞれ地域から頼りにされる商工会議所を目指して、様々な事業を展開しようとするものでございます。

そして、計画のタイトルでもあります



「テイク・オフ13」とおり、来年度末の13000会員に向けて会員募集キャンペーンを強力に推進しております。平成22年度の合併当初は全国で10番目の会員数でしたが、皆様のご協力により、昨年度末には全国8番目の規模となっております。また、今年度より、静岡県中部地域の商工会議所・商工会や、農協・漁協などの異業種団体との連携体制の構築にも力を入れており、地域の力を結集して様々な課題に取り組んでいく体制を整えているところでございます。

また、こうした会員規模や連携体制によるスケール拡大により、対外的な情報発信や行政等への働きかけなど、当商工会議所のアピール力の強化も図っております。

昨年は旧静岡商工会議所が設立されて120年の節目にあたり、今年度を通して様々な記念事業を実施しております。改めて、商業と地場産業のまち・静岡と、港の物流と工業のまち・清水を築いていただいた先人の方々に感謝するとともに、こうした資産を受け継ぎ、当地域の将来の発展に寄与してまいりたいと存じます。

さらに、平成27年(2015年)の徳川家康公薨去四百年という記念の年に、家康公が礎を築いた「世界史上例をみない平和国家」で「究極の循環型社会」、また

「文化の成熟期」でもあった徳川時代を再考し、その知恵と歴史的意義を未来の日本、そして世界へと発信するため、静岡県や静岡・浜松・岡崎の3市3商工会議所が連携し、「家康公四百年祭」に向けた活動をスタートさせました。

今年の春には、家康公ゆかりの地に住む市民・県民が徳川時代について改めて学び、誇りを感じることができるよう、「徳川みらい学会」を設立する予定でございます。この四百年祭を一過性のイベントに終わらせず、家康公を核として、当地域の魅力向上と活性化につなげてまいりたいと考えております。

加えて、新東名高速道路や5年後には静岡・申府間が開通予定の中部横断自動車道等の交通インフラや、国宝指定された久能山東照宮、日本平、今年夏に世界文化遺産への登録が期待される富士山などの地域資源を活用し、静岡地域全体の活性化や観光振興に向け、産学官民が一体となって取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことをご祈念申し上げますとともに、商工会議所活動に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

